

第1回 柳瀬川・空堀川流域連絡会(第5期)

全体会

議事録

日時：平成21年5月13日

於：北多摩北部建設事務所1階会議室



〔開 会〕

○事務局 定刻になりましたので、只今から第1回柳瀬川空堀川流域連絡会全体会を開催させていただきます。本日、司会、進行役を担当します事務局の工事二課長補佐です。よろしく願いいたします。

では、最初に第5期柳瀬川空堀川流域連絡会第1回ということで、北多摩北部建設事務所所長よりご挨拶申し上げます。

○所 長 どうも皆さんこんにちは。北多摩北部建設事務所所長でございます。

本日はお忙しい中、柳瀬川空堀川流域連絡会にご出席頂きまして、誠にありがとうございます。東京都の河川行政にご理解とご協力を賜り感謝しております。

本日は、第5期柳瀬川空堀川流域連絡会の最初の会ということでございます。公募による都民委員、団体委員が19名、行政委員が12名の計31名の委員にお集まり頂いています。皆様の応募の動機となった作文を拝見しまして、柳瀬川、空堀川の川づくりに対する皆様の思いが伝わってまいりました。よろしく願いいたします。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、流域連絡会は平成9年度に河川法の改正により流域の住民、自治体、河川管理者が河川に関する情報の交換、意見の交換を行い、協働して地域に親しまれる川づくりをしていくことを目的に設置されたものです。

柳瀬川空堀川流域連絡会は、平成11年11月に発足し、約10年間 皆様方に活動を続けて頂いています。分科会活動を含めるとその回数は、約50数回にも及ぶと聞いております。活動に参加された皆様には深く感謝いたします。

前回の第4期では、空堀川の水量確保、散策しやすい川づくりが大きなテーマとして水循環分科会と河川環境分科会を設けまして、さまざまな活動を熱心にやってきました。資料としてお手元に配布してありますパンフレットの中の「No.7第4期活動記録」に示してありますように、水循環分科会では、水涸れの現状を把握し水涸れマップの作成や水量確保策の取組状況に関する意見交換、芝中調節池の将来計画の検討を行って頂きました。また、河川環境分科会では、柳瀬川・空堀川の現地調査を行い、問題点の抽出及び改善点の意見交換、植樹に関する意見交換、植樹イベントの実施を行って頂きました。第5期の流域連絡会では第4期の委員の皆さんが熱心に討論してきた成果を踏まえまして、重要課題である水涸れ対策や河川緑化対策などを引き続き検討していくものと思います。地域に親しまれるよりよい川づくりに向けて、様々な課題について自由に活発な意見交換をしていただきまして、市民と行政が情報や問題意識を共有し、相互の理解を深め健全なパートナーシップを築けることを期待しております。

本日は、よりよい柳瀬川、空堀川の実現に向けまして活発なご意見、ご討議をお願いしたいと思っております。よろしく願いいたします。

○事務局 続きまして、委員のご紹介を申します。まだ資料確認をしていなくてたいへん恐縮ですが、お手元の資料No.5の第5期柳瀬川空堀川流域連絡会委員名簿がございますので、それを見ながらご紹介いたします。それではお名前を呼びますので、そのままですらよろしいので会釈をしていただければお名前とお顔が一致するかと思いますのでよろしく願いいたします。

先ず、清瀬市の団体委員の〇〇さん、続きまして都民委員 〇〇さん、まだ来られていません。続きまして清瀬市都民委員の〇〇さん、都民委員の〇〇さんですが

まだ来られていません。同じく都民委員の〇〇さん、都民委員の〇〇さん、都民委員の〇〇さん、都民委員の〇〇さんですがまだ来られていません。続きまして団体委員の〇〇さんもまだ来られていません。続きまして清瀬市の行政委員、市民生活課長の〇〇さん、行政委員の都市整備部長の〇〇さんです。

続きまして東村山市の団体委員の〇〇さん、都民委員の〇〇さん、都民委員の〇〇さん、都民委員の〇〇さん、行政委員 都市環境部緑と環境課長の〇〇さん、続きまして行政委員 道路環境課長の〇〇さんですが、今日所用があり欠席との連絡を頂いております。

続きまして東大和市の団体委員の〇〇さんです。ちょっとまだ来られておりません。続きまして都民委員の〇〇さんですがまだ来られておりません。続きまして都民委員の〇〇さん、都民委員の〇〇さん、都民委員の〇〇さん、行政委員 建設環境部参事の〇〇さん、行政委員 建設環境部土木課長の〇〇さんです。

続きまして武蔵村山市の都民委員の〇〇さん、行政委員 市民生活部環境課長の〇〇さん、行政委員 道路公園課長の〇〇さんです。

続きまして東京都行政委員 多摩環境事務所環境改善課長の〇〇さん、行政委員 河川部副参事中小河川計画担当の〇〇さんですが、今日は所用があり代理の〇〇さんです。続きまして行政委員 北多摩北部建設事務所管理課長の〇〇さん、行政委員 北多摩北部建設事務所工事第二課長の〇〇さんです。

以上、第5期柳瀬川空堀川流域連絡会の31名の委員です。

続きまして、お手元の配付資料の確認をさせていただきます。一番上に配布資料一覧表があります。配付資料は1番から12番まであります。No.1が座席表、No.2が今日の会の式次第、No.3が瀬川空堀川流域連絡会の設置要綱、No.4が流域連絡会運営要領、No.5がただいま見ていただいた委員の名簿、No.6が柳瀬川・空堀川流域連絡会について、No.7が瀬川空堀川流域連絡会第4期活動記録、No.8が空堀川植樹イベント報告、No.9が柳瀬川河川整備計画で、ここまでが番号がふつてある資料です。番号がふつていない資料として第4期の成果である散策マップ、東京の河川事業、平成20年度版ですが北北建管内図です。以上が配布資料です。

不足している資料がありましたら手を挙げていただければと思います。よろしいでしょうか。

それでは、本瀬川・空堀川流域連絡会の第5期の設置要綱と運営要領のご確認をしていただきたいと思います。読み上げてその後に確認していただければと思います。

お手元の資料のNo.3の資料です。

第5期柳瀬川・空堀川流域連絡会設置要綱 (設置)

第1 柳瀬川及び空堀川を地域に活かした親しめる川とするためには、都民と行政が共通認識に基づき、協働・連携して川づくりを進めていくことが必要である。

そこで、流域の住民、柳瀬川及び空堀川に関心を持ち活動している団体、市及び都が河川に係わる情報や意見交換及び提案等を行うことを目的として、柳瀬川・空堀川流域連絡会（以下「連絡会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2 連絡会は、次に掲げる事項について情報や意見交換及び提案等を行う。

- (1) 河川に係る計画、工事、管理等について
- (2) 河川環境と歴史・文化について
- (3) 流域自治体の行政計画のうち河川に係わるものについて
- (4) 流域内における開発など、まちづくりと河川の係わりについて
- (5) その他

(構成)

第3 連絡会は、流域住民、柳瀬川及び空堀川に関心を持ち活動している団体の代表者及び流域自治体の職員等別表に掲げる者(以下「委員」という。)で構成する。

別表は、先ほどの委員名簿に示されている委員です。

- 2 流域住民の委員は、公募によって選出する。
- 3 柳瀬川及び空堀川に関心を持ち活動している団体についても、公募により代表者1名を委員に選出する。
- 4 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 5 座長が特に必要と認めるときは、臨時委員を置くことができる。

(座長の職務及び代理)

第4 連絡会は、委員の互選又は委員の推薦により、座長を置く。

- 2 連絡会は、委員の互選により副座長を置く。
- 3 座長は連絡会を代表し、会務を総理する。
- 4 副座長は座長を補佐し、座長に事故のあるときは副座長がその職務を代理する。

(連絡会の開催)

第5 連絡会は、原則として年2回開催し、座長が招集する。

- 2 座長は必要があると認めるときは、臨時に連絡会を開催することができる。

(事務局)

第6 連絡会の事務局は、東京都北多摩北部建設事務所工事第二課に置く。

(その他)

第7 この要綱に定めるもののほか、連絡会の運営に必要な事項は、座長が定める。

付則

この要綱は、平成21年5月13日から施行する。

以上です。設置要綱は、第4期の設置要綱に沿って第5期の設置要綱を作成して

います。ご確認をよろしく願いいたします。この内容でよろしいでしょうか。

○委員全員 異議なし。

○事務局 では、この内容で設置要綱とさせていただきます。ありがとうございます。
続きまして、運営要領のご確認をしていただきたいと思います。読み上げますので確認していただければと思います。

第5期柳瀬川・空堀川流域連絡会運営要領
(公開)

- 1 連絡会は、原則として公開とする。
- 2 連絡会開催の事前公表は、連絡会にはかり決定する。

(運営)

- 3 連絡会は、次の事項を遵守し運営する。
 - (1) 自由な発言の尊重。
 - (2) 特定の個人・団体の誹謗・中傷の禁止。
 - (3) 各委員の尊重(住民、団体、自治体、河川管理者の役割の尊重)
 - (4) 建設的な提案型の意見交換。

(会議録)

- 4 連絡会の会議録は、原則として公開とする。
- 5 会議録は、発言委員の了解のもとに、以下の要領で作成する。
 - (1) 発言内容は要旨とする。
 - (2) 発言者は匿名とし、都民委員、団体委員、行政委員、事務局に区分して記載する。

(委員の補充)

- 6 委員の欠員の補充については、連絡会において補充方法を定める。

(臨時委員)

- 7 必要な臨時委員については、座長が連絡会にはかり決定する。

(分科会等)

- 8 分科会等の設置が必要なときは、座長が連絡会にはかり決定する。

(要綱の改正)

- 9 設置要綱の改正が必要なときは、座長が連絡会にはかり決定する。

以上です。これもこれまでの流域連絡会で運営してきた内容と同じです。第5期もこの内容で運営していきたいと考えていますがいかがでしょうか。

○委員全員 異議なし。

○事務局 それでは、設置要綱、運営要領ともにこの文章のとおり実施したいと思います。

どうもありがとうございます。

それでは、先ほどの設置要綱の第4にありますように、「連絡会は、委員の互選又は委員の推薦により、座長を置く。」となっております。

皆さんの中で立候補する方、または推薦する方がいらっしゃいますでしょうか。

○団体委員 工事二課長さんでいかがでしょうか。

○事務局 ○○委員の方から工事二課長の○○委員の推薦がありましたがいかがでしょうか。

○団体委員 これまでどおり、工事二課長が座長をすることによってよろしいと思います。

○事務局 よろしいでしょうか。

○委員是委員 異議なし。

○事務局 それでは、座長は、第4期と同様に北北建工事二課長の○○委員となりました。それでは座長の席にお座り下さい。

座長が決まりましたので、これからの運営について座長の方にお渡ししてよろしいでしょうか。

○座長 ただいま座長に推薦されました工事二課長の○○と申します。どうぞよろしくお願いたします。

それでは、次第に沿って進行させていただきます。6番目の座長挨拶ということで、簡単にご挨拶申し上げます。

昨年7月に北北建に移動してまいりました。前課長の後任ということで、第4期の座長を自動的に務めさせていただきました。そういう関係で多くの委員の方と活動を一緒にさせていただきました。第5期の流域連絡会の委員の方々は1名の方を除きまして第4期の委員の方々です。改めて、委員の皆様方の柳瀬川・空堀川によせる並々ならぬ想いに敬服していると同時にたいへん感謝しております。川はいうまでもないですが、都心に残された貴重な線です。市民にとってもかけがいのない財産と考えております。しかし、特に空堀川では水涸れの問題や川に緑が少ない、魚が遡上しにくいといったすぐには簡単に解決できない問題を抱えております。こうした課題について中長期的に取り組まなければならない課題、あるいは比較的短期的に取り組める課題について皆さんと整理し、意見やアイデアなどを公開しながら可能なものについては施策に反映させ、皆様方と一緒に手を携えて一步一步着実に前進していきたいと考えております。河川事業者としまして洪水から沿川の住民・財産を守ることが第一でございますが、予算や制度上の制約もありますけれど河川に求められている新たな時代の要請とか、あるいは流域の市民の皆様方の要望にも十分配慮して、皆さんができるだけ喜んで頂ける川づくりを進めてまいりたいと思っております。これから2年間皆様と意見交換しながら流域連絡会を進めて行くわけでございますが、時には行き違いや意見の相違により問題が生じることもあるかと思っております。しかしながら行政からも理解を示していきたい。結局、皆様方に喜んでいただける川づくりをしていきたいと思っております。少々の問題が生じて「雨降って地固まる」と言うことわざがありますように、皆様方と手を携えて一緒に川

づくりを進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

申し訳ございませんが、所長は所用がありますので、これで中座させていただきます。

次に、座長の選出と同時に設置要綱の中に副座長を決めることになっております。どなたか立候補あるいは推薦していただければと思います。それでは、私の方からこれまで熱心に活動をしてきていただいた方の中から〇〇委員を副座長に推薦します。どうでしょうか。

○委員全員 異議なし。

○座長 それでは〇〇委員よろしく願いいたします。

続きまして、次第の7番目の柳瀬川・空堀川流域連絡会について事務局方からお願いいたします。

○事務局 資料6の柳瀬川・空堀川流域連絡会についてご説明いたします。これまでの経緯は、所長の挨拶にもありましたが、平成9年の河川法改正以降、それまで以上に流域住民、流域自治体、河川管理者がきめ細かく情報交換しながら、協働・連携して地域に親しめる川づくりを進めることが求められるようになった。ということで、平成10年3月に全都的に流域連絡会を設置することに決められました。それで、柳瀬川・空堀川流域連絡会につきましては、平成11年3月に委員を公募し、平成11年11月に発足しました。その後、さまざまな事柄について意見交換が行われ、第2期以降に、柳瀬川整備懇談会、空堀川整備懇談会、水量確保分科会等を設置し、それぞれの課題について検討してまいりました。第4期につきましては、先ほど話がありましたように、水循環分科会、河川環境分科会の2つの分科会を設置し、課題ごとに活発に活動を行ってまいりました。

これまでの活動状況ですが、繰り返しになりますが、第1期の委員の募集が平成11年3月にされまして、平成11年11月18日に第1期が発足いたしました。約2年を経て第2期が平成14年4月22日に、第3期が平成16年7月1日に発足しました。第4期は平成18年12月22日に発足しました。その中で全体会の活動をしてきた中で、それぞれの課題毎に、時代時代のテーマについて分科会を設置し活動してきた。最初にできましたのは平成14年に柳瀬川整備懇談会で、清瀬市が事務局として会がもたれた。続きまして平成15年に空堀川整備懇談会で、東大和市が事務局として会がもたれ、河川整備について検討した。続きまして、空堀川の水涸れ等の課題に対し水量確保分科会が事務局 北北建で設置され検討されてきました。続きまして、第4期におけまして水循環分科会と河川環境分科会の2つの分科会を発足し、それぞれの課題を検討してきました。

今回の第5期の設置まで経緯については、平成21年1月15日に委員公募について各市報掲載しまして、平成21年2月10日に公募締切、その後、委員の選定作業を行い、平成21年3月4日に委員を決定しております。そして本日、5月13日に第1回連絡会の運びとなっております。

第5期の委員構成ですが、先ほど名簿にも続きご紹介申しましたが、委員数は31名、都民委員15名、団体委員4名、行政委員12名となっております。

流域の範囲としましては、清瀬市、東村山市、東大和市、武蔵村山市となっております。

ります。以上でございます。

○座長 どうもありがとうございました。何かご質問、ご意見ありますか。
無いですので、次の次第の8 第4期の活動報告ということで、先ほど説明しましたが、第4期の流域連絡会では、水循環分科会と河川環境分科会の2つの分科会に分かれて活動しました。活動内容についてそれぞれのまとめ役である〇〇委員と〇〇委員からご説明頂きます。

○団体委員 水循環分科会の活動について報告させていただきます。水循環分科会は、平成19年10月24日が第1回として、11回の会合を持ちました。その中で、現地見学やワークショップなどをしてまいりました。最後にまとめとしてこういうことを話し合った、こういうことをして欲しいということを座長宛に提言を行ってきました。

第1回目は私は欠席させていただきましたが、〇〇委員がまとめ役として行っていただいた。その時のメンバーは、〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員と私でした。行政委員は、〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員が生まれ、東京都からは〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員が参加しました。水循環のテーマとしましては、決められたものがあり、空堀川の現況把握、空堀川の流量確保で、対策をどのようにしていくかです。これを主なテーマとして話し合いを続けてきました。水循環とはどういうことかを最初に話させていただいた。水循環と一言でいっても、自然の水循環と我々が住んでいるような都市開発が進んだ所では都市生活に関わる水循環がある。これらが調和した水循環があるのではないかと、ということで、水循環をこれら3つとして捉えて話し合いをしてきました。具体的には、雨が降って、川を流下する河川水や地下浸透し地下水になる。地下水の一部は裂け目から出てきて湧水となる。それから水面、土壌、植物の葉から蒸発し、また雨が降って戻ってくるのが自然の水循環である。都市の水循環は、我々の生活排水が下水道を通じて、東村山市域の場合ですと流域下水道から水処理センターに行き浄化された水が柳瀬川へと行く。それから道路排水はU字溝を通過して川に流れていく。こういった都市の水循環がある。こういうことを考えながら水循環を考え、検討してきた。

第2回目からは私がまとめ役になりました。前年度の第3期でまとめた水量確保の提言の8項目について検討した。その一つは最上流部に「かたくりの湯」というのがあり、その湧水は冷たく温泉ではないのですが、その湧水を上流から流せないか、それから流域の企業から工場排水(処理水)を維持水として確保できないか、JR武蔵野線の構内排水を有効利用できないか、下流部については緑地保全指定を増やしていけないか、学校施設を少し借りて、プールの水、学校に降った雨とか比較的きれいであるということからこれを貯留して川に流すことができないか、などの提案が我々の仲間から出まして、具体的な絵を描いて提案をしてきました。中下流部については、広い河道の中にほとんど水が流れていない状況で、これを蛇行させて瀬・淵をつくり魚や多く生き物が広い空間の中で住めるような環境を造っていききたい。というようなことを話してきました。それから、地域指定をして雨水浸透マスを設置し、もう少し雨水を地下に浸透させることができないか、ということも参加している行政に提案し、積極的に取り入れてもらうようお願いをしてきました。最後に高度処理水として多摩川上流処理場から浄化した水が野火止用水に流れていますが、平行して空堀川が流れているので、なんとかこの水を空堀川に持って

これないか、ということをも水量確保分科会でやってきたことを更に話しました。

第3回目は事務局で作成して頂いた水涸れマップについて説明を受け、土地利用がどのように変遷してきたかについて話をしました。それから委員からも空堀川の水をどのように流すかについて提案がありました。パイロット事業として何か具体的にやる必要があるのではないかという提案がありました。

第4回、5回の分科会では、河川環境分科会と一緒に全体会議を行い、これまでにやってきたことを中間報告しました。

第6回目は、現地調査として上北台から高木橋の区間の工区の見学をし、それから芝中調節池の状況を見てまいりました。

第7回目は、現地調査の感想と意見について話し合いをしました。この時、平成20年8月に工事二課長に座長が代わりました。河床張りの事例として残堀川や野川にあるので是非紹介して欲しいということで、事務局から資料を頂き、将来空堀川で河床張りを行うとすればこのように行っていくという話をしました。

第8回目は、東京都土木技術センターの〇〇さんに来ていただき、御成橋付近の地下水の状況について資料を持ってきていただき説明がありました。

第9回目は、芝中調節池をどのように利用していくかについて話し合いました。芝中調整池の改修は平成24年からとまだ先のことですが、大きな河川空間として残っている芝中調整池をどのようにしていくか、といくことを話し合いました。

第10回目は、芝中調整池について具体的に分科会委員が事務局が用意してくれた図面を基に具体的な意見、こうしたら良いなどの意見を述べました。行政からは出ることとできないことがあるなど制約がありましたけれど、委員からはビオトープにしたらか、洪水時のピークをカットする貯水機能を発揮させるような構造にして欲しい、水の確保については旧川に雨水の貯留施設ができるかもしれないなどの話がありました。管理用通路は園路と一緒に使えるのではないかと、旧川を含め緩傾斜の護岸として広く使えたらよいのではという意見が出てきました。

11回目には事務局がこれらの意見を取りまとめていただき、まだ、結論ではありませんが、おおよその芝中調節池がこうなるといいなという図を書いてくれた。

我々が行うことは意見交換し、提言していくことです。第4期の水循環分科会の活動の概略については以上です。

○座長 どうもありがとうございました。何かご質問、ご意見については、この後の河川環境分科会の活動報告の後でまとめて行います。それでは、〇〇委員お願いします。

○団体委員 河川環境分科会のまとめ役をやらさせていただいた〇〇です。河川環境を考える上で、川に水が流れていて河川ではないか、ということから出発してしまう。第4期では、机上で議論しても何が問題点で、策定した河川整備計画に少しでも近づける川づくりはどうしたらできるのだろうか、ということで事務局にご苦勞をいただき、川を上流から清瀬の境まで歩いて見てみましょうということで、現地調査を全部で4回行いました。寒い時、暑い時もあり、市民が散策するのにどういった川が良いのだろうかということも大きなテーマでありました。雨水は分流式ですので当然空堀川や柳瀬川に流れ込みます。その時に白濁した汚水が混じっています。この汚水を下水管につなげて欲しいということも大きな課題であります。かなりの時間をかけて皆さんとディスカッションいたしました。行政委員、都民委員の皆さんで直ぐに片づく問題ではありません。どうしたら家庭の雑排水を入れないように出きる

だろうか、これは今日おみえになっている皆さんとかなりの時間をかけて今期も継続して話し合いをしたいと思います。そして歩くたびに、これからの第1回の分科会をどう持っていくかという話し合い、先ず川を見せていただきましょうということで第2回で第二天王橋から馬頭橋までを歩き、第3回ではその結果のとりまとめといったように、現地調査を4回し、その後何の問題があったのだろうかという話し合いをしました。その際に事務局で丁寧にまとめて頂きました。ここの部分にはどんな問題があるか、ここはどうしたらもう少し良くなるだろうか、川を全体に景観の良くするにはどうしたらいいのか、それから座長がお話したように、命を守る治水も考えなければいけない。生態がつながる川にするにはどうしたらよいか、それから市民の皆さんが感心深い川をどう利用していくか、子供たちを川に近づけるための川の構造をどうしたらよいか、それから水循環にも関わることですが、流域の緑を増やして雨水を地下浸透させ、川に湧水を導く。先ず物理的にどここの水をどうしようかという一つの手だてです。もう一つ、元々の地下水位を上げるには流域に緑が必要ではないかも大きな課題でした。そういうことを13回の会を行い、その結果として、河川沿いの散策する所に緑があつて散策しやすくするために植樹をしようということで実際に2回の植樹を行いました。これは座長と工事二課の大きな力沿いがあつて実現したことでございます。東大和市の前期の委員である〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員、行政委員の〇〇委員には努力をしていただきました。植樹する大きな問題は秋の落葉や不要になった枝で、住民の皆さんのご理解がないと植樹を進めることはできません。その御努力をして頂いて初めて実現したエノキ、ムクノキの6本の植樹です。それから、〇〇委員ががんばっていただいた東村山浄水場の所へのサクラ6本の植樹でございます。市民の皆さんに河川への緑化、景観もよろしい、生態系をも呼び戻すことができる緑化、そのような大きな効果があることを先ず理解していただき、前期2回行い、今期につなげて頂いたことは、河川環境分科会といたしましては各市政委員の皆さん、各市を代表して来て頂いている市民の皆さん、そして北北建のご同意がないとできないことですが、そこへつなげていただいたことは分科会は感謝した前期でございました。今期もまたそのことをつなげていただけたらありがたいです。ありがとうございました。

- 座長 どうもありがとうございました。それでは、水循環分科会と河川環境分科会の活動についてまとめ役からご報告がありましたが、何かご質問、ご意見がありますか。
- 都民委員 植樹した木の1本が枯れかかっているのを見かけた人はいませんか。
- 団体委員 サクラでなく、ムクノキ・エノキの方ですか。枯れていますか。
- 都民委員 危ない感じです。
- 団体委員 危ないというよりも枯れている。芽が全然でていない。
- 座長 上砂一の橋の所ですか。
- 団体委員 そうです。ムクノキの1本が枯れている。

○座長 分かりました。北北建の方で確認し、枯れていたら植え替えます。

○団体委員 ありがとうございます。

○座長 ご報告ありがとうございます。他に何かご質問、ご意見がありますか。無いようですので、次第の9の進め方について進みたいと思います。

進め方につきましては、前回は先ほど話しましたように水循環分科会、河川環境分科会に分けて進めたわけですけれど、今年度はどうするかという話し合いですが、その前の都民委員の皆さんに1分位の参加した動機ですとか、あるいはこういうことをしてもらいたいとかをお話いただき、その後に各市の行政委員の代表の方にご意見をいただきたいと思います。よろしいですか。資料6の委員名簿の順にしたがってお願いします。

○団体委員 「川づくり清瀬の会」の団体委員の〇〇です。10年ちょっとでございますが柳瀬川の河川改修が始まりに、地域住民で川に関心のある方が50名程集まり、スタートした会であります。1番に清瀬川は今改修中です。子供たちが川に近づくことができる川、そして洪水の流路がきちんと確保できるのであれば、できるだけ景観の良い、見栄えの良い川、美しい川、生態系が上下流につながる川、そういうことを求めて参加させて頂いています。清瀬市では緑のモニター、自然保護レンジャー制度でとても活発に活動しており、ゴミが無くなり、とても川がきれいになりました。清瀬の会は、子供たちの環境学習を含めてどうしても良い川にしたいという想いで参加させて頂いています。

○座長 ありがとうございます。続きまして〇〇委員お願いいたします。

○都民委員 〇〇と申します。私はずっと清瀬に生まれ育っていますので、昔の柳瀬川を大切にしたいとずっと思っています。水の再生センターができるまではドブ川のようなのでした。どうしても昔の川に戻したくて川づくりに参加させて頂いています。よろしくお願いいたします。

○座長 ありがとうございます。〇〇委員よろしく申し上げます。

○都民委員 4期生であった〇〇でございます。今回も6名の新しい委員の方がいらっしゃいますけれど、私の場合、川に関心があるということだけで応募しました。失敗したというか、かなり苦労しました。第1回から委員を継続してられる方、保護団体等を主催されている方、行政の方含めまして、プロというか専門お方と一緒に話をするに非常に苦労しました。しかし、私は〇〇委員の川づくり清瀬の会に所属しまして、かなり学習会、研修会に参加し、また北北建の当時担当の〇〇さんが懇切丁寧に河川法、整備計画、魚に関する事など基礎知識をたたき込んでいただきました。おかげさまで現地調査や会合においてもいくらか分かってきました。

2年目は学校で言えば出席が足りず落第生でした。今年度はもし河川環境分科が発足すれば去年の借りを介したいと考えました。今回のレンジャーの方、自然を守る会、清瀬の会の方など清瀬市は強力なメンバーで構成されているので横の連携が

とれるのではないかと期待しています。私自身も河川環境分科会が継続されればそこでもう一で力を出したいと考えております。

○座長 ありがとうございます。続きまして新メンバーであります〇〇委員お願いいたします。

○都民委員 〇〇と申します。3年前から清瀬市の自然保護レンジャーをやっています。たまたま私の家が柳瀬川の真ん前にある台田団地に住んでいます。35年前は本当のドブ川で、汚く、臭いもひどく、最初はひどい所に来たものだと思います。だんだん皆様の努力の賜ですが、きれいになって、今は清瀬だけでなく、所沢、東村山、練馬の方からも沢山の方が来られる状況です。ただ、色々なものができたのですが、一番困っていることは、金山橋の下にある河原で、いい意味バーベキューをやるということで、黙認状態でしたが今はインターネットで紹介されるなど、都内はもちろん山梨の方からも来られている。土曜、日曜になると30組くらいのが来ています。こないだの5月5日は天気が悪いのに32~33組のパーティーで、1パーティーが15~16人で盛況でした。これから夏に向かいもっと盛況になります。ただし、自然保護レンジャーとして毎週土日に昼頃出かけて行って、ゴミの後始末等を含めて、そういうことがないようにお願いして歩いているのですが、どんどん新しいグループが増えており、直火等が行われています。汚い頃を知っている私は、子供を裸で川で水遊びをさせると思います。それをもう少し自然保護レンジャーとしても何とかしていきたいと思います。週1回空堀川の方まで歩いていますが、色々な方々から声を掛けられ、この川はどうなっているとか、何処に言えばいいのかなど色々言われる。当然自然保護レンジャーの毎月やっている会議でも行政委員の方から北北建にお願いを言うこともありました。ただ色々な問題を含めると行政が絡んでくると連絡がうまく行ってなかったり、逆に北北建からこんな工事をやるよという連絡が清瀬に入ってきてもどっかの部署には伝わるが、我々には伝わらない。急に工事が始まったり、終わったりする。できれば、その中身をもう少し、こちらから提供する情報もありますが、逆に各行政や対岸の所沢市に連絡できればいいなと思い参加しました。是非よろしくお願いいたします。

○座長 ありがとうございます。続きまして新メンバーになりました〇〇委員 お願いいたします。

○都民委員 清瀬の〇〇です。清瀬にはアマチュアカメラクラブの旭が丘写真クラブがあり、私はそこに所属しています。清瀬の郷土博物館で毎年1回写真展を行っています。来年20回展があるのですが、その記念として何かやろうと思っている。それでチームで色々考えた末、柳瀬川回廊の写真展をやろうと言うことになった。今現在会員が29名ですが、全員で柳瀬川の写真を撮ろうということでやっています。何か写真展に向けて情報を頂ければということで参加させていただきました。よろしく願います。

○座長 ありがとうございます。続きまして新メンバーになりました〇〇委員はお見えになってませんので、東村山市に移りまして、団体委員の〇〇委員 お願いいたします。

○団体委員　私は東村山市から来ている〇〇と申します。よろしくお願ひします。私は団体委員になってますけれど、5月9日をもって団体の代表を任期満了により終わりました。名簿に団体の代表と記載されているのは恥ずかしいですが、3月に委員の辞令を頂いたのだからしかたがないのかなと思ってます。先ほど水循環分科会の中でお話をさせていただきましたが、空堀川に清流を取り戻そうということで、最初の動機が汚い川をきれいにしよう。そして、きれいな水が流れ、瀬切れが起こらない川にしたい。そういう想いを持ってやってきました。川に水を取り戻すことは絶対無理だと今強く思っています。5月31日に空堀川の川祭りを行います。たぶん今年が水が溜まったり流れたりするのが最後だろうと思っています。できれば、初心の目的に沿って、水が流れる空堀川、柳瀬川にしたい。柳瀬川・空堀川整備計画もできていますし、色々なことが書かれています。色々やってきて実現できないで終わってしまうのも残念だなという気持ちもありますけれど、どうなるのだろうと思っています。今年度は河床張りの実現、これもなかなか難しいです。50mm対応の河川にするために河床を下流から掘っていかねばならないとか、その時そこに水が浸透しないような工事をする話があります。そうでなくて50mm対応の河川ができていけば、そこで部分的でも河床張りを行っていく方法もあるのではないかと、私は思っているのですが、皆さんはどのように考えているかそんなことを続けてやって行ければ良いと考えてます。よろしくお願ひいたします。

○座長　ありがとうございました。続きまして〇〇委員　お願ひいたします。

○都民委員　東村山市からまた応募しました〇〇です。4期に引き続き5期も応募しました。4期の時は水循環分科会で4～5年前に比べ去年は本当に空堀川は水が無くなってきており、〇〇委員がおっしゃったようにもう期待できないのではないかと位に危機感を持っています。生物たちが本当に危うい状態で、なんとか少しでも水が溜まっている場所に魚を動かしたり去年活動しました。河床張りのこともあります。雨が降った時に貴重な水を貯めておけるようなワンドなどの設置も考えられたらと思ひ今回参加しました。よろしくお願ひいたします。

○座長　ありがとうございました。続きまして〇〇委員　お願ひいたします。

○都民委員　私も第4期に引き続きまして今回も参加しました。第4期に応募した時の作文の内容は、一言で言うと「河川エリアがあつて河川がなし」といことを書きました。空堀川はここにあるけれど、水が流れておらず河川はない。ということです。毎日空堀川沿いを散歩していますけれど、たいへん激しい変化のある所で、大雨が降るとものすごい流れになるが、雨がやむとほとんど水が流れなくなる。先ほど動物の話がありましたが、アイガモが水のない川底をひたひた走っており、誠に不自然な状況です。なかなか難しいことですが、何とか水が流れる川になるといいと思っています。野火止用水の近くに住んでいるので、かつては水がなかったが、下水処理場から浄化した水を流して今ようになった。現実的には前途多難で簡単ではなく、また、空堀川という名前の如く、昔から水があまり流れていなかった。ということは川底が土質条件的に透水係数が大きく浸透しやすい。この水は何処に行っているのかなどを分析し継続してやっていくことが大切だと思ひ今回も応募しました。一

生懸命やりますのでどうぞよろしくをお願いします。

○座長 ありがとうございます。続きまして新メンバーになりました〇〇委員 お願いいたします。

○都民委員 新任の〇〇と申します。東村山市から来ました。東村山市には7年前に越してきました。〇〇さんが代表をしていました「空堀川に清流を取り戻す会」に入って、現在もそこで活動しています。水涸れの話が出たのですが、私は実は生業が記録カメラマンですけど、定常的に空堀川を撮影してきたのですが、明らかに水が涸れている状態の場所と日数が増えてきています。以前は冬や夏の一時期でしたが、今の時期でも涸れる。どんどん上流へと広がっている。どうも改修工事の進行と同じように水涸れも上流へと進んでいるように思える。水が流れるようになるのは絶望的ではないかという話が出ましたが、皆さんの知恵というか、人為的に川を工事して人為的に水涸れした部分もあると思うので、人為的に少しでも水が流れるようにする方法は、人間の力ではないかと思っています。そういう想いで参加しています。それから、実は偉そうなことを言ってますが、先ほどの分科会の話の伺っていると専門的、具体的、かつ継続的で少し勉強しないとついていけないなと思っています。皆さんに教えていただきながら川づくりをしていきたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。

○座長 ありがとうございます。続きまして東大和市の方へ移ります。〇〇委員よろしくをお願いします。

○団体委員 東大和市の「空堀川を考える会」の代表をさせて頂いてます〇〇と申します。川との関わりは東大和市の空堀川を考える会というよりも〇〇さんのところの「空堀川に清流を取り戻す会」の方がずっと早いです。私は引っ越してきて 20 年ほどになります。空堀川の近くに引っ越してきました。後になって気が付いたのですが、現在の最大の水源の所だったのです。当時は、下水道の接続率が不十分で、水量が結構ありました。ところが5月に引っ越してきて最初の夏を迎えたところ、とんでもない川だということが分かった。先ず臭いがひどく、腐った川、これはもう川ではなくドブ川でした。その頃、何かで〇〇さんのところの「空堀川に清流を取り戻す会」を知りまして、早速会員にさせていただき、最初の川との関わりでした。それから何年かしまして、東大和市にも必要だろうということで、多くの皆さんからご支援を頂き新しい会、「空堀川を考える会」を立ち上げました。まだ小さな会です。一言で言うと空堀川をもっといい川にしたいということです。ただ、いい川の定義は、数年前から国交省で専門の委員会がいい川づくりをずっと伝承してきており、専門の皆さんにはご承知のことと思いますが、そういう意味でのいい川です。単純に一般的な意味でのいい川ではありません。国交省で専門の委員会が進めているいい川づくりを是非、今まさに東大和市で河川整備工事が進められているので用いて欲しい。前から私は、川の直線化に抵抗してきたのですが、残念ながら既に都市計画決定されており、河川の直線化にストップをかけられませんでした。しかたがありません。そういった制約された中で何とかいい川ができないかと思っています。最大の水源であるこれを川下に向かって細くなりやがて涸れてしまう状況がないようにしていただけるとありがたいです。危惧しているのは今〇〇委員も若干触れら

れたんですが、整備工事が進むことで水が涸れてしまうということです。これは専門家が科学的にデータで示せないのでしょうか。川でない所に川を掘っている。ようするに河川の直線化は地形的に高い所を切り通しで新しい川を造るわけです。同じような地質構造化もしれませんが、何らかの影響で水がしみこみやすい。そんな感じを持っています。専門的なことですので我々素人には踏み込みにくい所ではありますが、できればこの流域連絡会で都民委員、行政委員と合意形成しながら工事を進められることはたいへんありがたいことです。当初の流域連絡会の目的もそういったところにあると考えています。是非今後も空堀川をいい川づくりしていただければありがたいです。よろしくをお願いします。

○座長 ありがとうございます。具体的な川づくりについては今後いたしますのでよろしくお願いいたします。続きまして〇〇委員は欠席していますので、〇〇委員 お願いいたします。

○都民委員 4期から始めさせて頂いてます。私は環境学習をやっておりまして、子供たちに水辺の学習をさせたいなと思いました。それには先ず自分自身が川とか水辺について学んだり知識を深めたりしなければ行けないと思いました。その頃家が空堀川から離れており、余り興味はなかったが、整備された空堀川を見て親しみを覚え、もっと空堀川について勉強する必要があるなと思いこの会に入らせていただきました。この会で色々なことを勉強させて頂いて、また、清瀬市などの研修会にも参加させて頂いて、川の持つ奥深い色々な問題があるのだと分かりました。犬を連れて散歩している人は楽しんでいるかもしれないが、川が造られていく問題点とか、これからやらなくてはいけないこととかを分かっているのかなと疑問に思うのですが、そういうことを私たちが広めていくというか、話し合ってこれから 河川づくりや植樹について、もっと市民の皆さんとの話し合いの場を持ちながら進めていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

○座長 ありがとうございます。続きまして〇〇委員 お願いいたします。

○都民委員 東大和市の〇〇です。空堀川は人工の川というか、もともと余り期待はしていませんが、言わないとだめだということで、出てきたという状況です。

○座長 ありがとうございます。続きまして〇〇委員 お願いいたします。

○都民委員 何もしていないのですが、〇〇委員が好きなんです。勉強したいと思う時、ここで公開原則となっている資料などは、公共の図書館などに置いてあるのでしょうか。

○座長 どういったものですか。内容にもよるのですが。

○都民委員 出せるようなものはあるのでしょうか。子供たちが勉強したいと思った時に、東京都ではすてきなものを色々作っていますが、配る努力は誰がしているのでしょうか。いい活動は沢山やっているのですが、必要な所に必要な情報が行き渡るようなことを、ホームページとかインターネットとか必ずいう時代になりましたけれども、僕は何も知りませんので、本当に地道に活動してきた人たち、川づくりにせよ、自

然保護にせよ、必要な資料がぱつと手に届くような、嘘が多いからインターネットはだめですよ。そういうことです。今年で2年目ですがまた遊ばせていただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

○座長 ケア不足というご意見でしたけれども、その点についても分科会の方で検討出来ればと思ひます。ありがとうございます。続きまして武蔵村山市の都民委員である〇〇委員 お願いします。

○都民委員 今年から参加させていただきます武蔵村山市の〇〇と申します。先ずお願ひをさせていただきます。今までの活動の報告を頂きましたが、市民がこういうことを言った、こんな要望が出た、こんな意見が出たというものとその対する成果は何で、到達点は何であるかについて、これは検討中であるなどの対照表を作成して欲しい。私たちの武蔵村山市は一番上流で、工事はこれからです。下流の方のできている所を見て「ははーん」では済まされぬ。これは「こういう要望でできたものである。」とかがわかる資料が欲しいです。我々が武蔵村山の川を考える場合、あそこの橋のまねをしてここにも造ろうとする場合、こういうことを言わなければ、というように参考になると思ひます。是非それをやっていただきたい。私は残堀川の側に住んでいます。30年くらい前に引っ越して来た時は、残堀川には水が一杯あった。子供が川に落ちて死ぬくらい水が一杯あった。それを東京都が河床を掘り下げ、コンクリートで護岸工事をした。そしたら水が少なくなった。雨が降った時はダーと流れ、雨がやむと水がすぐにひいてしまう。残堀川の上流は瑞穂町の狭山池で、そこには水が沢山ある。2kmほど下流の私の家の前まで来ると水が全然ない。工事をしたため水が染み込んでしまう。先ほど話があったように、手を加えたらだめになることがあった。まさに残堀川がそうであった。今は東京都もまずいと思つたのか工事をやり直しています。川底に粘土を張って水がしみ込まないようにしている。私はそれを見ていて、はじめからそうすればよいのに、なんて無駄なお金を使っているのだろうか。そう思ひます。掘ると砂利層になるのだから誰でもわかりそう。変な話だと思ひます。残堀川は武蔵村山市を通り立川へ行くのですが、河床張りをした所は水が流れ立川ぐらゐまでは流れています。その工事をしていない所は水が見事に無くなります。残堀川の事で私は東京都に手紙を書きました。川の工事をする時は川の周りに雨水浸透マスで沢山作れということを使った。残堀川の支流がいくつか流れ込んでいるのですが、そういう水が増えると、源流から来る水にプラスされるので水が豊かになるはず。川は川だけでなく地域全体を考えなくては行けないと思ひます。行政は、雨水処理は川に流せばいいんだという考えでできている。雨が降ると濁流となって川を流れる。それは間違いだと思ひます。

そえから私は武蔵村山でホタルを飼っています。狭山丘陵から出てくる湧水を使ってホタルを育てようと苦心をしている。水が潤れるんです。そこも東京都の管理になっていまして、運営委員会があります。そこで話したんですが、最近の狭山丘陵は保水能力はこれでよいのか。トウキョウサンショウウオの産卵場がどんどん減っていく。水がしみ出てこなくなっている。表面の木をどう植えるとか、チョウチョウがいるとかいないとかだけでなく、地下の水の状況まで目配りをした公園管理をしないと行けないのではないかと問題提起した。川も同じことがいえると思ひます。参考ですが野川は小金井とか野川周辺の自治体がお金をかけて雨水浸透マ

スを各家庭にまで設置した。野川の水は見事なもので、野川公園でとうとう流れている。川だけでなく広く自然を守らないといけないと思っています。今までの皆さんの蓄積した話を参考にこれから一緒に考えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

○座長 貴重なご意見 ありがとうございます。これから一緒に問題について話していきたいと思っています。時間がなくなってしまいましたが、できれば各市で行政委員が2名出られていますが、どなたか1名が1分くらいご意見を頂けるとありがたいです。清瀬市さんどうでしょうか。

○行政委員 清瀬市です。清瀬市は、流域の一番下流に位置しています。市民の皆さんが川づくりに大変熱心で、市と一緒に川づくりに取り組んでいます。引き続きまして関係団体と密接に連携を取りながらよりよい親水の河川づくりに邁進したいと考えています。

○座長 ありがとうございます。東村山市さんお願いします。

○行政委員 私が、初めて空堀川に接したのは、役所に入った49年で、東京都内で1番汚い川でございました。埼玉県から汚い水が東京に流れていると新聞に出まして、東京都の立川と本省の公害部署が来まして、清瀬市、東村山市、東大和市、武蔵村山市の4市と東京都で初めて空堀川を今後どうしようかという話がありました。その時に空堀川が東京で一番汚い川であることを知り、話し合いの中で何とか魚の住める川にしようではないかというのが第一段階でした。それで初めて私どもが24間徹夜で川の水を取り、まとめをするなど役所の中でさんざんやってきました。行政としては目一杯やってこれたと私は思います。その時、川に流入する下水が下水道に入れば川がきれいになる。また、都の建設局に親水を持った川にして欲しい。もし新しく川ができたとしても親水公園的な所ができればよいという発想でさんざん要望をしてきました。10年ほど空堀川のことをした後、移動になり、その後、子供が「お父さん空堀川で魚が釣れるんだよ」ということを聞き、びっくりして行ってみますと、子供たちが魚を釣ってました。子供たちが釣った魚を喜んでバケツに入れる姿を見て、「やったな」とすごい感動を受けました。ただ、今空堀川に水がないということで、何とか空堀川の水を確保しながら頑張っていきたいと思っています。これほど市民の皆さんに関心を持って頂き、行政の方も頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。

○座長 ありがとうございます。東大和市さんお願いします。

○行政委員 東大和市です。今、皆さんのご意見を伺っていると、問題点は水の確保ということで共通認識していると思います。行政としては今まで治水対策の観点に重きを置いていたわけですが、今後は環境に配慮した内容の中に親水化、そういった意味での川の位置づけ、そういったものに我々努力して対処していきたいと思っております。東京都とも連携して今後の川づくりをどうするかについて連絡会を通して皆さんの意見を含めまして検討していきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

○座長 ありがとうございます。武蔵村山市さん お願いします。

○行政委員 道路公園課の〇〇と申します。〇〇委員からもお話がありましたように、一級河川の残堀川と空堀川という2大河川が流れています。子供の頃、残堀川ではザリガニや魚が釣れた憶えがあります。それが当時の工事が悪と思いますが、行政の立場としては残堀川を1日でも早い清流復活を求めまして、東京都にもお願いしまして昨年度末には何とか立川市の行政界まで河床張りをしました。狭山池の水量がもう少し多くなれば水量も確保されるのかなと思います。本市では下水道が分流式で汚水と雨水が分かれており、開発行為について、家を新築する場合はなるべく宅地内に雨水浸透マスを設置をお願いし、地下水の涵養に努めている。住民の皆さんの協力があるのですが、引き続き水量の確保のためにもやっていきたいと思っています。

また、空堀川につきましても武蔵村山の六道山公園が源になっていることを皆さんご存じだと思います。六道山公園を含む狭山丘陵は、約280ha ございますので、水源林について東京都と一緒に確保しながら、開発をなるべくさせないで降った雨水は地下へ浸透させ、いずれ河川に流れるというようなことでやっていきたいと思っています。なお、空堀川では、東京都から事業説明がありまして、用地買収が進めば24年度頃から事業が始まるので、河川事業は治水、利水、親水との関係から色々あるかと思いますが、微力ですが市民の皆さんと協力しながらなるべく水量と緑地の確保について頑張っていきたいと思っていますので今後ともよろしくお願いいたします。

○座長 ありがとうございました。続きまして東京都に移りまして、多摩環境事務所環境改善課長の〇〇委員 お願いします。

○行政委員 多摩環境事務所環境改善課長の〇〇です。昨年4月より転勤に伴いまして参加させて頂いております。参加して直ぐに現地をおじゃまいたしました。やはり現場100回という例えもあることを強く感じております。私どもの水質係が河川パトロールを毎週行っています。河川の水質汚濁事故を未然に防ぐことを目的に行っています。空堀川では昨年は幸いに大きな事故等はありませんでした。ただ、ご記憶のある方もいらっしゃると思いますが、昭島の下の川ということでたいへん小魚の多い川で、たいへんきれいなせせらぎでしたが、全滅した事故がありました。1回失うと取り返すのが大変なことを痛感しております。個人的には私は小金井市に在住でして、もう30年住んでいるのですが、小金井市の地下水保全会議というのに参加しており、今、野川の話でありましたが、うちも家を建てる時に結構な費用がかかったが雨水浸透マスを付けました。そういう市民の努力で地下水管理が相当進んでいます。保全会議の中では、その割には野川の水が戻らない。上流でもっと広域で国分寺市さんにもよろしくお願いたしたいということが学者の方から出ました。地下水や河川の水量はなかなか難しい問題で非常に広域に考えないといけないと思っています。今年は4月早々にあちこちで水質汚濁事故が起きておりまして、分流式でありますので、ペンキを側溝に捨てたとか、クルマのオイル交換した後に道路に廃オイルを流してしまったとかというものです。一昨年は少なかったですが、昨年から私が来たせいか増えており、なかなか無くなりほしくないのですが、以後努力をしまして各事業者さんに話して減らしていきたいと思っています。やはり水質、水量を確保

するには地域の住民の皆さんの協力が必要ですし、行政の方も目を向ける必要があると感じておりますので今後ともよろしくお願いします。

○座長 ありがとうございます。各委員の川に寄せる想い、問題意識がよくわかりました。今後、2年間、分科会で具体的に様々な意見を出していただき、それを整理し対策につなげたいと思います。それで進め方についてですが、これまで第4期で様々な課題があるわけですが、大きく水循環と河川環境に分けて分科会で検討してまいりました。検討した結果、資料7の最後の頁の下にまだこんな課題があることを示しています。今回の第5期の進め方ですが、これまでの経緯もありますけどどのように進めればよいか、どういう分科会を作ればよいか、あるいは別の方法があるか、皆さんのご意見を頂ければと思います。いかがでしょうか。

○団体委員 具体的な分科会の名称はわかりませんが、東大和市については高木橋上流まで工事が進められておまして、工事について工事内容の検討を中に入れたい。内容も浸透性の工事ですから何処まで出きるか限界があるかと思っています。出きる範囲で各委員の意向が盛り込めるかという議論が出きるとありがたいです。

○座長 それは、これから3～4年の間でここでこういう工事をするという大まか計画がございしますので、しかるべき箇所、時期にご説明したいと思います。○○委員の方から何かあれば、

○団体委員 私は、今までの水量確保の話を行ってきた。4期では水循環について話してきた。いずれも関連があることで、その流れに基づいてもう少し進めてみたいと思います。大きなテーマでなかなか難しいですが、どなたかが言われましたように、工夫をして知恵を出し合って、せつかく1,600mm程度の雨が降るのですから一度に流すのではなく、貯留するとか、そういう方向で考えていけないものだろうかと思っています。それからもう一つは、最近のことで非常に気になっているのですが、浄水橋の所で工事が行われた。橋の下で川が曲がっており、土砂が堆積し、大雨が降ると橋の桁についてします。非常に土砂が堆積してきた。そこを重機で掘った。我々は会の発足当時から前後にショウブを持ってきたり、ヤナギを植えたり、精力的に環境改善のための植栽をやってきた。自然を再生しようという大きな看板を2つ立ててあった。その前で工事をやって表土をみんな持って行ってしまった。工業者に注意したら表面はまた元に戻すよという話をしていたのですが、やっているうちにワンドの水は涸れてしまうし、魚がみんな干上がってしまうし、また注意したら、そういうのは契約に入っていないとか、そこまで上流は考えていないとかいう。維持管理に関する工事を行うのであれば、契約の中に現状に戻すということを当然入れて欲しい。そうでないと河川環境は改善していかない。契約に入っていないと業者に言われると、我々は何も言えない。これからの河川工事についてはそういうことを是非要望していきたいと思っています。水循環について続けてやっていきたいと思っています。

○座長 表土を元に戻して欲しいと業者に話したらそうはいかないということでしたが、北北建の監督員には話しましたか。

○団体委員 監督員にも、課長にも文章でお願いしました。それで注意するという電話が来たが、人事異動の最中でわからなくなった。

○座長 わかりました。場を改めて話しましょう。○○委員はいかがですか。

○団体委員 今、○○委員の話を伺ってほっとしました。やはり空堀川に水をということは諦めては駄目です。水が流れて温暖化を抑制する川ですので、川に水がないと助長する。先ほど水を戻すのは絶望的かなと言われて、私困ったなと思いました。続けて水を求め、雨水を地下浸透させながら是非空堀川に水を流して下さい。水がない川はレジ袋に入れたゴミをポイポイと放り込む。雨が降ると下流にそれが全部流れてくる。河床にある木は洪水の時に流水の障害になると言われるのですが、そうでもないです。木の根っこにゴミが絡みます。木がないとゴミは何処に行くのでしょうか。市民ができるだけ木に絡んだゴミを取り除いています。取り除かないゴミは海に行きます。海を汚すとどうなるのでしょうか。そこまで考えて河床の木を大事にしながら、もちろん流量の確保ができるのであれば、木にゴミを絡め、絡んだゴミを取り除き、できるだけ下にはゴミを流さない。「4市の市民が結束してレジ袋を無くしましょう。」位のことを考えるなど環境全体を考えた川づくりについてここで話し合いができればありがたいと思っています。以上です。

○座長 わかりました。それでは、今回初めて委員になられた方もいらっしゃいますので、2年間の活動で、こういう分科会を作りましょうということはなかなか難しいと思います。それで第4期での積み上げもありますし、問題点も整理してありますので当面は水循環分科会と河川環境分科会という形で進めて、更に分けた方がいいとか、あるいは統合した方がいいとかいう状況になればその時に考えていきたいと思いますがいかかでしょうか。

○全員 異議なし。

○座長 そういう形で進めさせていただきます。水循環分科会と河川環境分科会で進めさせていただきます。

続きまして、10番目の今後の予定ですが、2年間の予定をいついつにと決めることは難しいです。それで、先ず、新しい委員の方もいらっしゃいますので、現場調査を6月くらいに事務局の方で考えていると思います。現場調査を6月くらいに1回あるいは2回やって、その後に分科会を考えておりますので、どちらの会を希望するかを決めていきたいと思います。分科会のメンバーを決めてから分科会を進めていきたいと思います。とりあえず現場調査ですがどうしますか。

○事務局 事務局としては、後日決まった日程をご案内いたしますが、先ず現場調査を行うと考えています。第4期では2回実施し、下流から上流まで全部歩いた。清瀬の埼玉県境から空堀川第二天王橋まで歩き、日を改めて第二天王橋から空堀川1級終点までです。そういう形が良いのかを含めまして検討させて下さい。

○座長 事務局の方で決めてご案内いたします。不十分ならば更に他の所を見るとか、あるいは集中的に見るとか臨機応変に考えていきたいと思います。

それでは、第1回の柳瀬川・空堀川流域連絡会で決めなくてはならない事項について決まったということによろしいでしょうか。わかりました。

〔閉 会〕

○座長

第5期の第1回柳瀬川・空堀川流域連絡会について、第4期の積み上げもありますが、お世辞でなく、皆さん熱心に、献身的に、ただ要求するだけでなく、みんなで考え行動してやってきた素晴らしい実績があります。それを引き継いで第5期はもっと素晴らしい成果をだせるように皆さんと手を携えてやっていきたいと思いますのでどうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。